

簡冊を作る

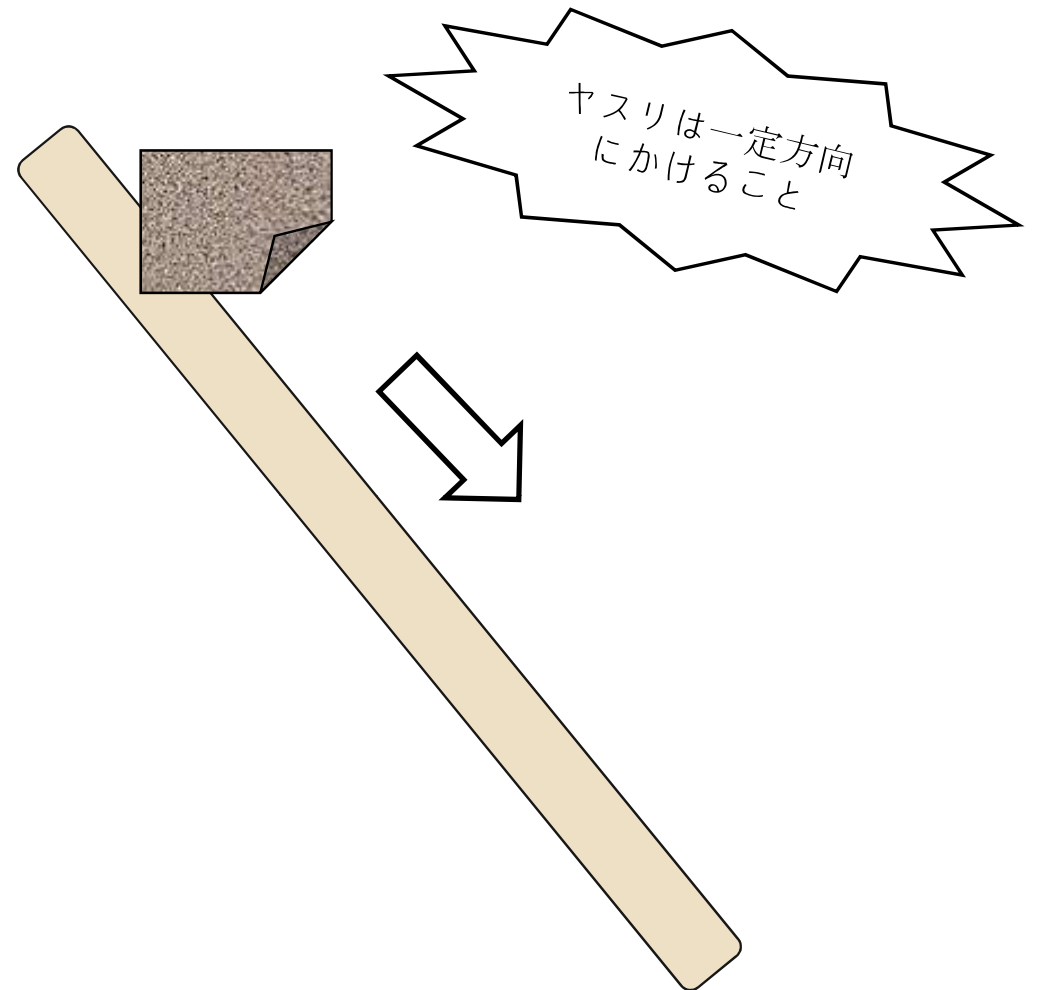


大阪大学中国哲学研究室 湯浅邦弘
(製作協力:六車 楓)

①竹簡をなめらかにする

竹片の側面と上下端に紙ヤスリを軽く当ててなめらかにする。

- ✓ 現在発見されている竹簡は、短いもので15cmくらい。長いものでは30～60cmくらい。幅は1cm弱。



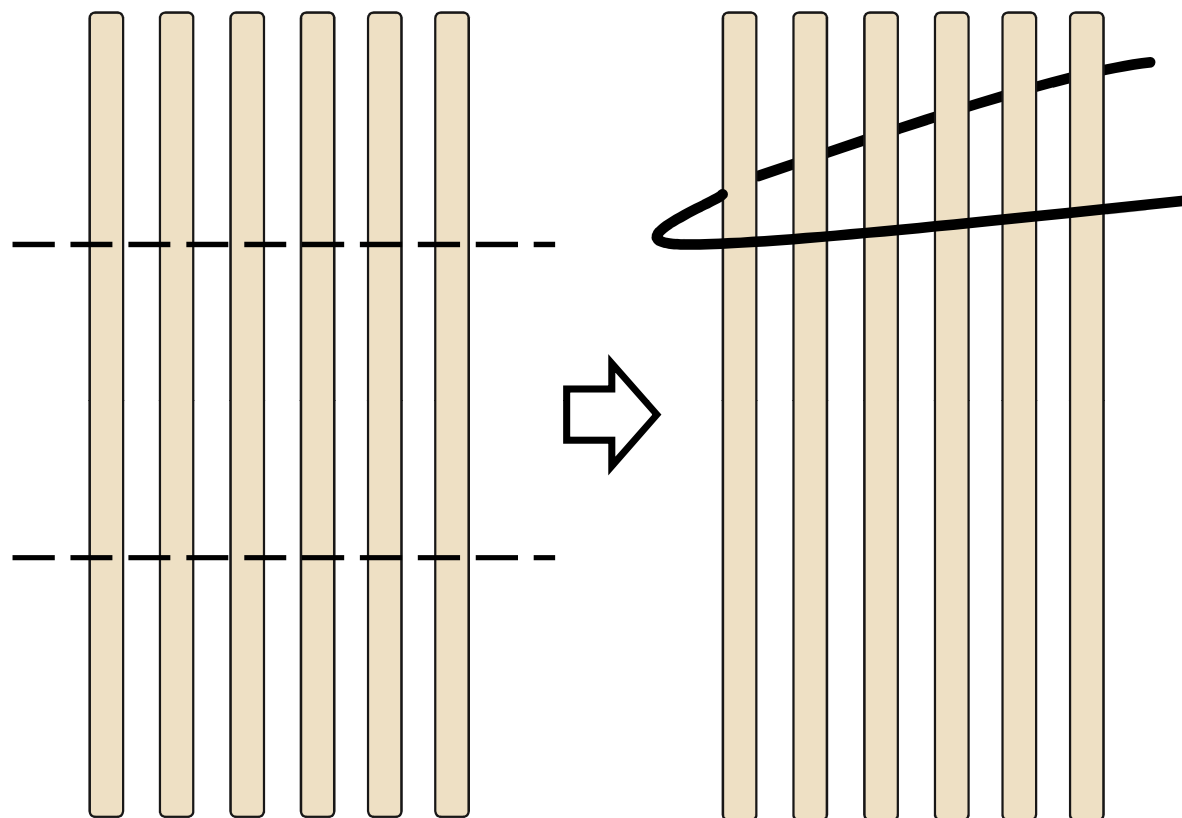
②竹簡を並べる

すべすべしない方(やや白い方)を表
(文字を書く面)とする。

③最終簡の左側から ヒモの真ん中をかける

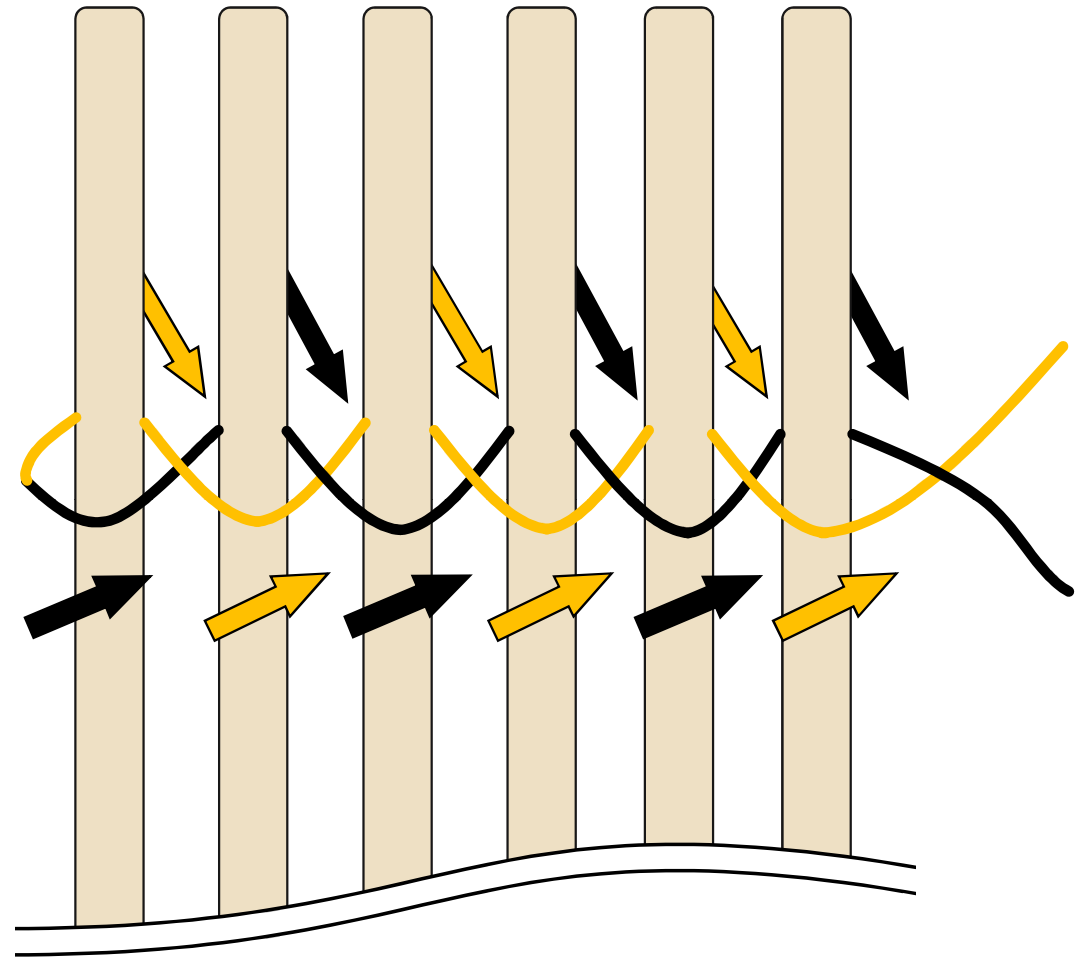
上から三分の一(上段)を目安にする。

- ✓ 長い竹簡では、上・中・下の
3ヶ所で編む場合もあった。



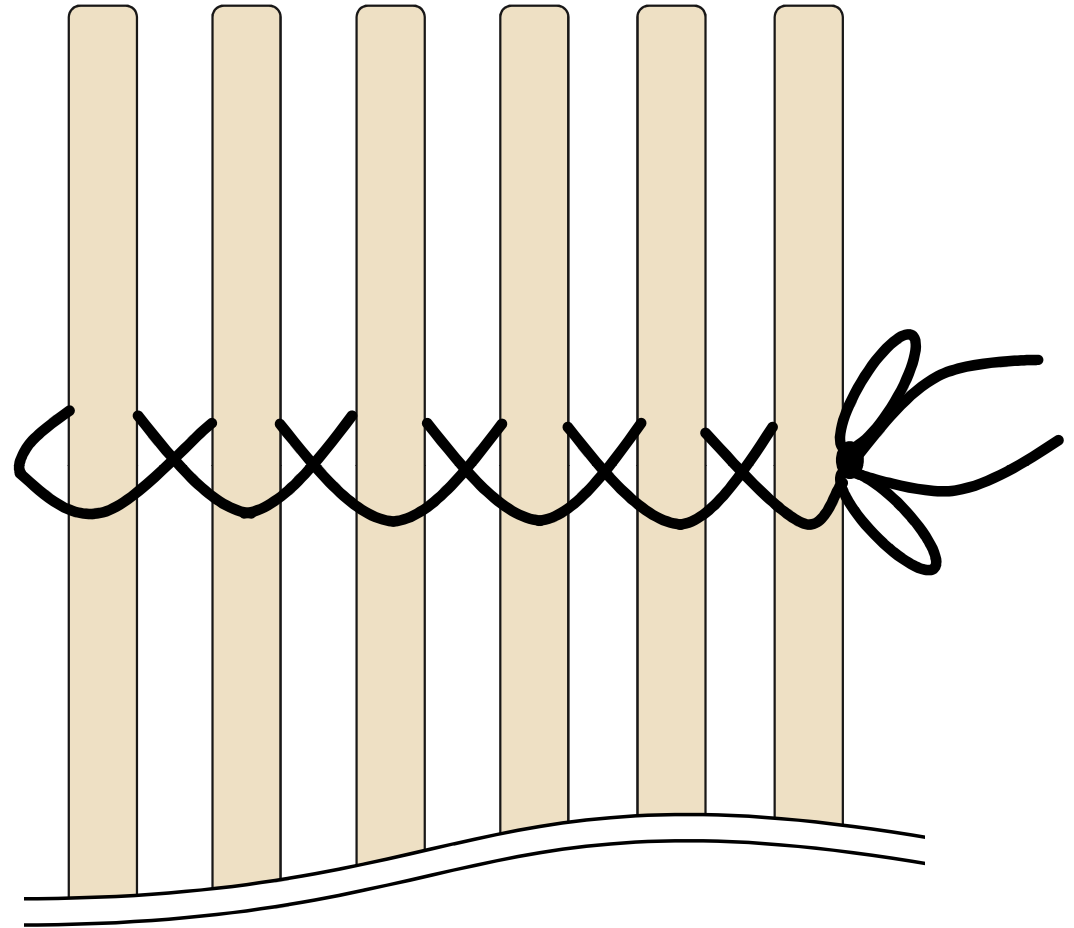
④ ヒモを編む

- ◆ 次の筒にかける前に一度ヒモをひねり、順次、右側の竹筒に移る。
- ◆ ひねる際、「後ろからきたヒモが上になる」という原則を決めておくと、編み目がきれいに揃う。

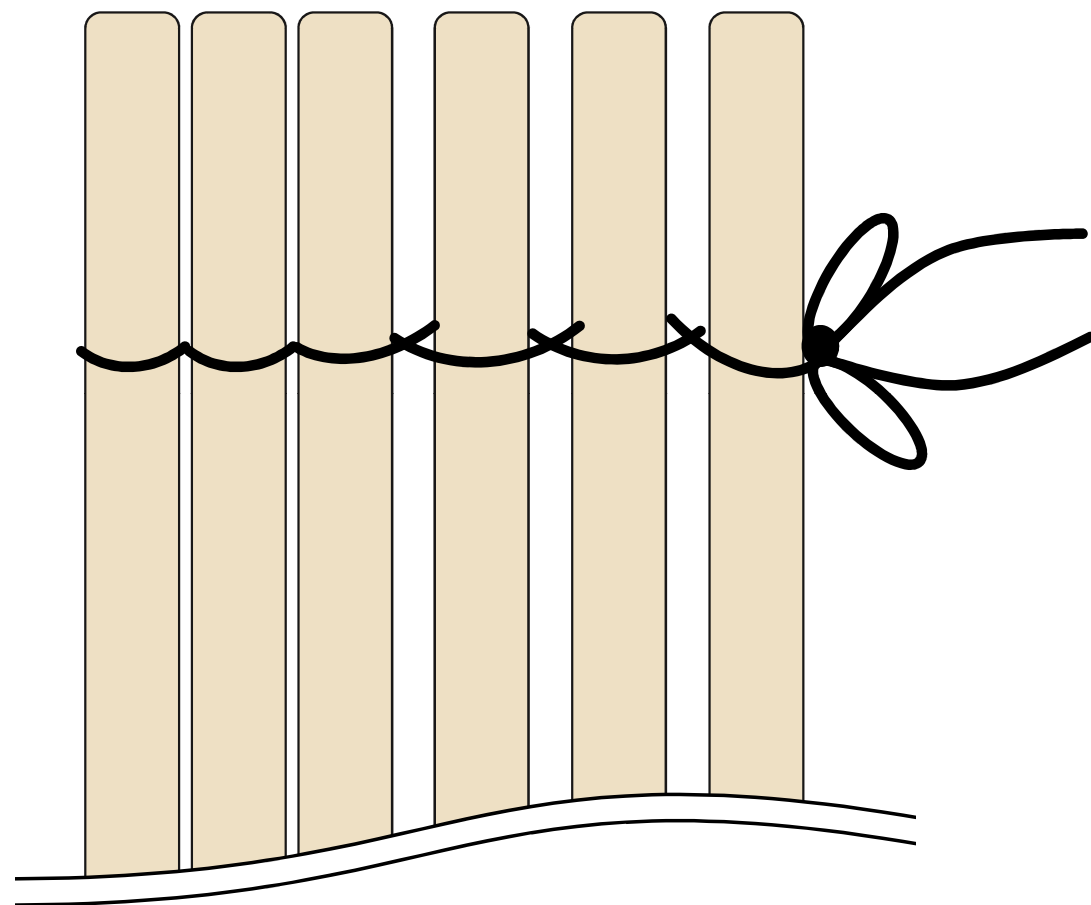


⑤先頭の筒まできたら、
一旦仮止めする

- ◆ここであまりきつくしめると、
下段が編みづらくなる。
- ◆上段ができたら、下段も同様にする。

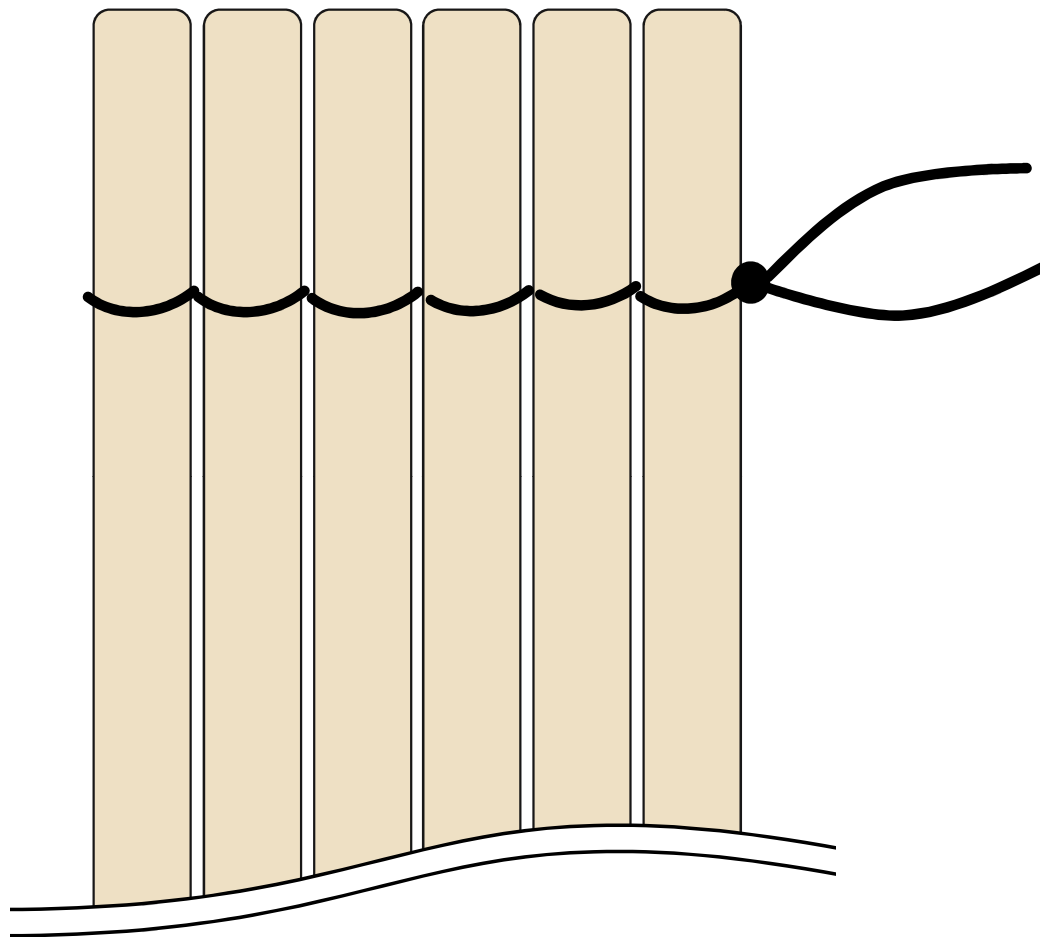


⑥ 上段左側から一本ずつゆるみをとる

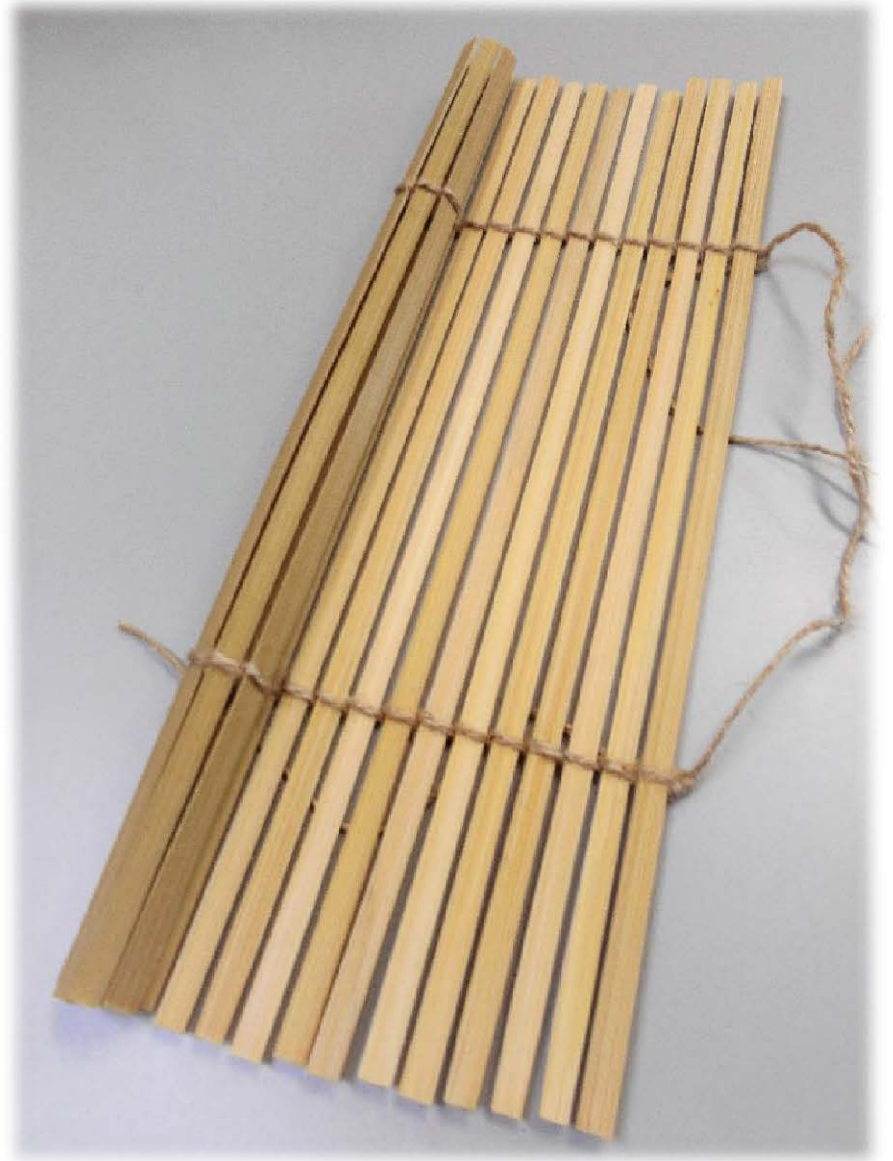


⑦先頭の筒まできたら、
本締めをする

上段ができたら、下段も同様にする。



完成



⑧文字を書いてみましょう

- ◆ 墨でなくてもよい。
濃い鉛筆(Bや2B)も可。
- ◆ 幅が狭いので、やや縦長の文字を意識する。
- ◆ 好きな言葉や古典の言葉などを書いてみましょう。

~ 竹簡関連の漢字 ~

- 「冊」
- 「典」
- 「柵」
- 「卷」

